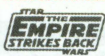


STAR WARS シリーズ 第2弾!

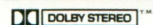


スター・ウォーズ

THE STAR WARS SAGA CONTINUES



帝国の逆襲



主演マーク・ハミル/ハリソン・フォード/キャリー・フィッシャー/ビルー・デー・ウィリアムス/アンソニー・ダニエルズ (C-3PO)

監督アービン・カーシュナー/製作ゲイリー・カーツ/脚本リー・ブラケット・ローレンス・キャスダン/ストーリー・ジョージ・ルーカス/音楽ジョン・ウィリアムズ

小販化トナルド・F・グラット (徳間書店刊) サウンドトラック盤レコード及びテープ (ポニーレコード)
テレビジョン・カラー・ランクフィルム現像所 ルーカス・フィルム、LTD. 作品 20世紀フォックス配給
フィルム・ステレオ録音 TM TWENTIETH CENTURY-FOX FILM CORP. TM LUCAS FILM, LTD. 1980 ALL RIGHTS RESERVED

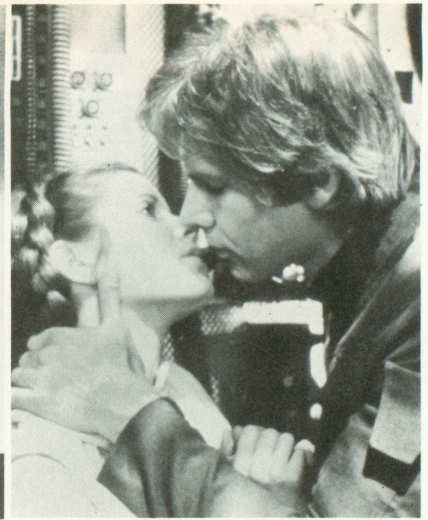
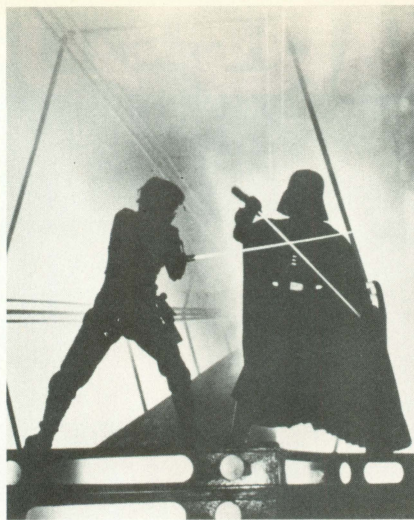


★スタッフ

監督……………アービン・カーシュナー
 製作……………ゲイリー・カーツ
 製作総指揮/ストーリー……………ジョージ・ルーカス
 脚本……………ラリー・ブラケット
 ………………ラリー・キャスダン
 小説化……………ドナルド・F・グラット《徳間書店刊》
 撮影……………ピーター・シャシツキー
 音楽……………ジョン・ウィリアムズ
 サウンドトラック・レコードとテープ
 ………………ポリドール・RSOレコード

★キャスト

ルーク・スカイウォーカー……………マーク・ハミル
 ハン・ソロ……………ハリソン・フォード
 レイア・オーガナ姫……………キャリー・フィッシャー
 ロボットC-3PO……………アンソニー・ダニエルズ
 ロボットR2-D2……………ケニー・ベイカー
 ダース・ベイダー……………デブ・ブラウズ
 チューバッカ……………ピーター・メイヒュー
 ランド・カルリシアン男爵……………ビリー・ディー・ウィリアムズ
 《上映時間=2時間4分》



★世界が待ちに待った！史上最大のヒット映画がスクリーン3倍、面白さ10倍でやってくる！

全世界で二億四千七百万ドルという史上最高の配収記録を樹立したスター・エンターテインメント映画、待望の続編がやってくる。

今回は前作の三倍にあたる二千五百万ドルの製作費が投入され、知恵とアイデアを凝らして面白さ十倍の一段とパワー・アップされたSF映画史上最高の大作となっている。

ストーリーはジョージ・ルーカスが書き、彼は製作総指揮をとり、編集、特殊効果にもタッチしているが、監督は「アイズ」のアービン・カーシュナーにバトン・タッチしている。

死の星(デス・スター)が爆発し、悪の権化ダース・ベイダーが逃げだしたところで前作は終わったが、ダース・ベイダーと帝国軍は、ルーク、ハン・ソロ、レイア姫たちの居場所をしつこく追及し、ホス(氷の惑星)で戦闘訓練をしている反乱軍を発見。雪と氷に閉ざされた惑星ですさまじい戦闘が展開される。このシーンは雪のノルウェイにロケして撮影されたが、これが「帝国の逆襲」の最初の見せ場である。前作のマーク・ハミル、ハリソン・フォード、キャリー・フィッシャーが再登場。人気者のチューバッカ、ロボットC-3PO、R2-D2も大活躍。ことに愛嬌者のR2-D2は少し改造され五種類の活躍を見せる。その一つは潜水術で、走るときは三本足になったり、別のところから手が出るなど複雑な動きを見せて人間味を加えている。レイア姫のロマンスもあり、スベース・アクションの凄味に、今回は人間的な厚味と深さを加えて、ヒューマンな味わいが一段と加わっている。

★どぎも抜く新兵器とキララクターが続々と新登場！眼もくらむ壮大な宇宙艇の魅惑！

今回は、続々と面白い新兵器とキララクターが登場してくるのが話題だ。その一部を紹介しよう。ダース・ベイダーの乗るエクゼクターと呼ばれる宇宙艇は11万個の電球をつけた大都市のスカイラインそっくりの空のマンモス。帝国軍は氷の上を四つ脚で突っ走るAT-AT・スノーウォーカー(全地域用装甲歩行機)、プロボット(帝国探知ロボット)などアツと驚く新兵器で反乱軍

てくる。

さらにダース・ベイダーは賞金めあての悪漢たちをやとつて、レーザ・ガン、ロケット・ダートなどを装備した凄腕奴らが続々と登場。ハン・ソロたちとすさまじい宇宙戦争をエキサイティングに宇宙せましと展開する

のである。このハンターには触毛を生やした面頬類を思わせるエイリアンもあり、IG-88という戦闘ロボットもファンを驚ろかせる。

一方、ハン・ソロの乗る宇宙艇ミレニアム・ファルコン号が全貌を見せる。全長60フィート、高さ16フィート、重量40トンという巨大な宇宙艇で、ミレニアム・ファルコン号とダース・ベイダーのエクゼクターの宇宙での対決が手に汗にぎらせる。雲を背景に戦闘機が飛びかう空中戦は、白いマットを使用して特撮の新技術が開拓されている。

★氷の惑星から舞台は湿地帯の惑星へ！そして雲の惑星へと三転！大スケールで迫撃！

ダース・ベイダーによってハン・ソロたちは四散し、ルークは飛行機でホスを脱出し一面、湿地帯の惑星ダグバに不時着する。ここでルークは深い叡智をたたえたジエディの騎士の師だったヨーダから霊力(フォース)を習得する。氷の惑星でルークが巨大な白い怪獣ワンパに襲われて傷つき、外科医のロボットたちに助けられるというエピソードも見せ場だ。

ワンパとルークの大格闘に息をのむが、氷の惑星で運用に用いられるラクダのような形をしたトーン・トーンという動物をはじめ星状の洞穴に棲息するマイノックというコモリのような形をした動物など、新キララクターは、そのアイデアの凄さで驚ろかす。マイノックはスベース・シップの胴体には付着して宇宙艇を悩ませる。

一方、ハン・ソロとレイア姫が逃れたのはスベス(雲の惑星)——ハン・ソロと姫がルークのためにオトリとなってダース・ベイダーを迎え撃つていてと知ったルークは、急いでスベスピンに向い、ここで帝国軍を迎えて、ドラマは一大クライマックスに発展する。

スベスピンでは「雲の都市」の行政官、ランド・カルリシアン男爵(「ビリー・ホリディ物語」のビリー・ディー・ウィリアムズ)という新人物が登場。男爵はハン・ソロたちを陰から助けるのである。

反乱軍と帝国軍の戦争は、三つの惑星を舞台にして、予想もしない結末へとなだれこんでいく。

前作でアカデミー賞を受けた美術のノーマン・レイノルズ、音楽のジョン・ウィリアムズ、衣裳のジョン・モロ、編集のポール・ハーシユが再び名チームを組み、特撮は「2001年宇宙の旅」「エイリアン」の名手ブライアン・ジョンソンが新しく加わった。かくて世紀のSF超大作は、79年3月5日の撮影開始から一年をかけてみごと完成したのである。

9月20日(土)ロードショー!

新宿アカデミー劇場 (202) 0141

平日	11:50	2:15	4:40	7:05	
日・祝	9:35	11:50	2:15	4:40	7:05